



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月27日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小野 義昭
 問合せ先責任者（役職名）管理本部経理部長（氏名）平澤 秀明（TEL）03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	34,871	7.6	1,233	108.9	1,432	71.6	1,009	101.1
26年3月期第2四半期	32,403	6.7	590	4.8	834	31.5	501	163.8

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 △47百万円（-%） 26年3月期第2四半期3,544百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	12.41	12.38
26年3月期第2四半期	6.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	88,375	67,991	76.0
26年3月期	88,644	68,088	75.7

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 67,122百万円 26年3月期 67,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
27年3月期	—	4.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	69,000	2.5	2,400	82.6	2,600	41.6	1,400	94.4	17.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	82,623,376株	26年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,297,848株	26年3月期	1,349,869株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	81,285,957株	26年3月期2Q	81,281,740株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年11月5日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心に企業業績や失業率が改善するなど、緩やかな景気回復が続きました。日本では、消費税率引上げによる影響がありましたものの、雇用情勢や個人消費が底堅く推移し、総じて景気は緩やかな回復が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車関連分野における生産活動の回復基調が進展し、また半導体およびOA機器関連分野の需要回復も堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、事業拡大に向けた機動的な運営を促進するために、機能別組織体制に改編いたしました。これによる部門横断的な総合力を活かしながら、販売面では、新製品提案を重点とした営業活動をグローバルに展開し、生産面では、品質および生産効率の向上などに技術、製造が一体となって取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は348億71百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は12億33百万円（前年同期比108.9%増）、経常利益は14億32百万円（前年同期比71.6%増）、四半期純利益は10億9百万円（前年同期比101.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回り、利益改善も進展しました。

入力デバイスは、自動車の電装化が進んでおり、自動車用キースイッチおよびタッチスイッチの出荷が順調でした。また、ノートパソコン用タッチパッドは、新機種向けの出荷が好調でした。ディスプレイ関連デバイスは、視野角制御フィルム（V C - F i l m）の出荷減少が続きましたが、液晶接続用コネクタが堅調に推移し、売上げは前年並みとなりました。コンポーネント関連製品は、スマートフォン向け防水製品の出荷減少が続き、売上げは前年を下回りました。

この結果、当事業の売上高は86億60百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は4億62百万円（前年同期は27百万円の損失）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、OA機器用部品をはじめ半導体関連容器などの出荷が堅調に推移し、全体として売上げは前年を上回りました。

OA機器用部品は、主要ユーザーの新機種向け製品の出荷が順調に推移し、売上げは増加しました。シリコンゴム成形品は、医療関連、電子部品関連、建材関連など全般に堅調な出荷が続き、売上げを伸ばしました。半導体関連容器は、半導体業界の需要回復が続いたことで、売上げは前年を上回りました。キャリアテープ関連製品は、自動車電装分野向けやスマートフォン向けなど堅調な需要が続き、売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は144億15百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は11億65百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、消費税率引上げに伴う消費の落ち込みなどの影響がありましたものの、全体として売上げは前年をやや上回りました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けの出荷が伸び悩み、また、販売価格改定が遅れました。機能性コンパウンドは、自動車用、電線用ともに新製品の堅調な出荷が続き、売上げを伸ばしました。塩ビパイプ関連製品は、消費税増税などの影響を受けましたものの、拡販活動および価格改定により売上げは前年を上回りました。外装材関連製品は、需要が低調で、売上げは伸び悩みました。

この結果、当事業の売上高は91億96百万円（前年同期比3.5%増）、営業損失は3億74百万円（前年同期は4億6百万円の損失）となりました。

④その他

工事関連では、首都圏を中心に需要旺盛な商業施設の新築・改装物件の受注活動を推進しましたが、全体として売上げは前年をやや下回りました。

この結果、その他の売上高は25億98百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失は44百万円（前年同期は75百万円の損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済は、米国景気の減速化や欧州景気の低迷長期化および中国や新興国などの回復の遅れが懸念される状況にあります。日本経済は、消費税率引上げによる個人消費の減退や輸入価格の上昇など、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、成長市場への機動的な営業活動を推進するとともに、海外事業の拡大を図ってまいります。また、既存事業のさらなる強化と新規事業の創出にも取り組んでまいります。

平成26年7月23日に公表いたしました平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2億96百万円減少し、利益剰余金が2億96百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,139	34,667
受取手形及び売掛金	18,090	17,823
商品及び製品	4,859	5,221
仕掛品	938	1,093
原材料及び貯蔵品	2,217	2,157
未収入金	1,103	985
繰延税金資産	828	816
その他	1,564	1,804
貸倒引当金	△273	△344
流動資産合計	64,468	64,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,991	6,754
機械装置及び運搬具（純額）	5,669	5,195
土地	6,210	6,201
建設仮勘定	851	1,512
その他（純額）	1,046	1,036
有形固定資産合計	20,770	20,700
無形固定資産		
ソフトウェア	496	436
その他	158	145
無形固定資産合計	655	582
投資その他の資産		
投資有価証券	1,333	1,509
繰延税金資産	330	324
その他	1,086	1,033
投資その他の資産合計	2,750	2,867
固定資産合計	24,176	24,150
資産合計	88,644	88,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,134	13,160
短期借入金	0	0
未払金	1,801	1,899
未払法人税等	184	315
未払費用	1,349	1,616
賞与引当金	960	997
役員賞与引当金	36	14
その他	908	567
流動負債合計	18,376	18,572
固定負債		
長期借入金	1	1
退職給付に係る負債	1,645	1,313
資産除去債務	148	148
その他	383	347
固定負債合計	2,178	1,811
負債合計	20,555	20,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	45,065	45,995
自己株式	△948	△912
株主資本合計	66,221	67,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	402
為替換算調整勘定	609	△508
退職給付に係る調整累計額	53	39
その他の包括利益累計額合計	918	△66
新株予約権	133	128
少数株主持分	814	740
純資産合計	68,088	67,991
負債純資産合計	88,644	88,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	32,403	34,871
売上原価	24,218	25,640
売上総利益	8,184	9,231
販売費及び一般管理費	7,594	7,997
営業利益	590	1,233
営業外収益		
受取利息	110	137
為替差益	104	130
その他	48	29
営業外収益合計	263	297
営業外費用		
固定資産除却損	—	82
その他	19	16
営業外費用合計	19	98
経常利益	834	1,432
特別利益		
固定資産売却益	16	—
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	17	—
特別損失		
固定資産除却損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	833	1,432
法人税、住民税及び事業税	401	445
法人税等調整額	△57	0
法人税等合計	343	446
少数株主損益調整前四半期純利益	490	985
少数株主損失(△)	△11	△23
四半期純利益	501	1,009

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	490	985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	145
為替換算調整勘定	3,010	△1,165
退職給付に係る調整額	—	△13
その他の包括利益合計	3,054	△1,033
四半期包括利益	3,544	△47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,452	24
少数株主に係る四半期包括利益	91	△71

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	833	1,432
減価償却費	1,255	1,524
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△38	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△47
受取利息及び受取配当金	△127	△149
為替差損益 (△は益)	20	△14
固定資産除却損	18	82
売上債権の増減額 (△は増加)	1,135	△189
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13	△576
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,239	79
未払又は未収消費税等の増減額	108	92
その他	391	320
小計	2,345	2,553
利息及び配当金の受取額	132	158
利息の支払額	△17	△15
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△129	△300
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,330	2,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,963	718
有形固定資産の取得による支出	△953	△1,773
非連結子会社への出資による支出	—	△32
その他	21	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,895	△1,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△364	△365
その他	△3	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367	△341
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,577	△609
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△355	337
現金及び現金同等物の期首残高	27,427	30,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,071	31,124

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,863	12,917	8,881	29,662	2,740	32,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,863	12,917	8,881	29,662	2,740	32,403
セグメント利益又は損失(△)	△27	1,133	△406	699	△75	624

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	699
「その他」の区分の損失	△75
棚卸資産の調整額	△47
その他の調整額	13
四半期連結損益計算書の営業利益	590

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,660	14,415	9,196	32,273	2,598	34,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,660	14,415	9,196	32,273	2,598	34,871
セグメント利益又は損失(△)	462	1,165	△374	1,253	△44	1,208

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,253
「その他」の区分の損失	△44
棚卸資産の調整額	8
その他の調整額	16
四半期連結損益計算書の営業利益	1,233